

技術実証検討会の設置等について

■技術実証検討員

相野谷 誠志	(株)蒼設備設計 設備設計部 課長
岡城 孝雄	(財)日本環境整備教育センター企画情報グループ グループリーダー
河村 清史	埼玉大学大学院理工学研究科 教授（座長）
木村 茂雄	神奈川工科大学機械工学科教授
桜井 敏郎	（社）神奈川県生活水保全協会 理事
穂苅 康治	槍ヶ岳観光株式会社 代表取締役
吉田 直哉	神奈川県自然保護センター自然保護公園部自然公園課

■実施方針

- （１）自然環境の適正な保護と利用に資するトイレし尿処理技術を掘り起こす。

トイレし尿処理技術が、原則として、排水、排気、廃棄物などで周辺の自然環境に影響を与えるおそれの少ない技術であり、システムやコスト面で利用者の理解が得やすいことを求める。

- （２）自然環境や利用の特性に適合した技術の開発・普及を促進する。

自然環境やインフラ条件に適合した技術であり、マニュアルや取扱説明書等の付帯資料が用意され、他の地域・分野への技術移転が容易な技術であり、普及が図れることを念頭に置いて業務を進める。

- （３）技術実証での公平性、情報結果の公開性、施設整備の現場での実効性や経済性、企業への支援効果などに配慮する。

多様な技術分野、地域・環境の中から技術を選択し、本事業への参画を促し公平性を担保することとし、実証過程や結果については外部に公開し、技術の改善に資することとする。

- （４）自然公園での適正な自然の保護と利用の推進に貢献する。

山小屋などの自然地域のトイレの改善を進め、同時に利用者にトイレ使用料など一定の自己負担をトイレ利用者の理解と協力を求める。

- （５）本業務で得られた知見や情報が他分野で応用・利用されることに貢献できること。

本業務を通して得られた知見や実証試験での成果を、メディアやインターネットなどを通じ公開し、自然公園やそれ以外の自然環境地域などで、広い意味での環境改善に資する。

■ 検討会の開催および検討内容

第 1 回 技術実証検討会・分科会の設置、実証対象技術の選定等

- ・ 今年度の実施方針及び検討内容の確認
- ・ 実証対象候補となる技術の選定
- ・ 実証試験計画策定に向けた分科会の設置

第 2 回 実証試験計画の策定

- ・ 実証試験計画の確認

第 3 回 実証試験の経過状況・セミナーの開催等

- ・ 実証試験の進捗状況（利用者数、試料分析に関する中間報告等）の確認
- ・ 自然地域トイレし尿処理技術セミナーの開催方針の検討
- ・ 自然地域トイレし尿処理技術ガイドブックの普及・啓発の検討

第 4 回 実証試験の実施結果・セミナーの開催等

- ・ 実証試験結果の検討
- ・ 実証試験結果の有効活用および実証効果に関する検討
- ・ セミナー開催案、広報・PR 方法の検討

第 5 回 実証試験結果報告書の検討、実証試験要領の見直し等

- ・ 実証試験結果報告書の検討
- ・ 実証試験要領の見直し

■実施スケジュール



